

オリジナル品種（モモ） 「はつひめ」について

1 育成経過

- 育成機関：農業総合センター果樹研究所（福島県福島市）
- 平成11年 あかつき（母）×はつおとめ（父） 交配
- 平成14年 1次選抜開始
- 平成17年 「モモ福島9号」として選抜
- 平成19年 栽培特性を確認し育成終了
- 平成20年2月18日 品種登録出願
- 平成21年2月26日 品種登録

2 特 徴

- モモ早生品種。収穫期は早生品種「日川白鳳」より7日ほど早い7月上旬。
- 果形は偏円形で、縫合腺が深く、早生品種「はつおとめ」に似る。果重は220～300gで早生種としては大果。果皮の着色は「日川白鳳」より良好である。肉質は滑らかで、果汁が多い。食味は香りが豊富で甘味である。日持ちは「日川白鳳」とほぼ同等。
- 核割れは発生するが早生種としては少なく、裂果は発生しない。
- 花粉がないため、摘果作業の省力が図れる。
- 県内平坦部全域での栽培が可能である。



全体像



成熟期の果実